

授業科目名	高齢者看護援助論	担当教員	◎青山美紀子、新田静江、川上裕子、濱崎圭一、室井大佑、比護文也、田中純子
必修	開講年次：3年前期	単位：2単位	授業形態：演習 60時間

【授業概要】

さまざまな健康及び機能障害にある高齢者を対象に、そのひとがこれまでに生きてきた過程、家族関係、地域社会での役割などの理解を深める。加齢や機能障害によって、高齢者の日常生活行動がどのように変化するのか、QOLにどのような影響を及ぼすのか学ぶ。また、その機能を維持しながら生活できるよう、その機能を十分に発揮できるよう、高齢者の看護援助について学ぶ。

【授業目的・目標】

1. 高齢者の身体的・心理的・社会的特徴について理解した上で、さまざまな健康障害（疾患）や機能障害を抱えながら生活する高齢者の看護について理解する。
2. 終末期にある高齢者の看護とその家族への援助について理解する。
3. 高齢者とその家族の抱える問題や課題について考察する。
4. 高齢者と社会システム、医療保険制度、介護保険制度と高齢者ケア、保健医療福祉施設における看護について理解する。
5. 高齢者のQOLと倫理的課題について考察する。

【履修条件】

「高齢者看護学概論」を修得していること

【授業計画】

- | | |
|---|------------|
| [01] 講義の概要説明、高齢者の栄養摂取障害と看護 | (青山・新田・川上) |
| [02] 【演習】栄養摂取への援助（嚥下体操、嚥下訓練） | (新田) |
| [03] 感覚機能障害と看護（白内障、老人性難聴） | (新田) |
| [04] 呼吸機能障害と看護（肺炎、インフルエンザ）高齢者施設における感染症（ノロウイルス、疥癬） | (新田) |
| [05] 皮膚の疾患と看護（掻痒症、带状疱疹） | (川上) |
| [06] 認知機能障害と看護①（うつ病、せん妄） | (青山) |
| [07] 循環機能障害と看護（高血圧、不整脈、脱水） | (新田) |
| [08] 認知機能障害と看護②（認知症） | (青山) |
| [09] 神経機能障害と看護（パーキンソン病） | (新田) |
| [10] 認知機能障害と看護③（認知症） | (青山) |
| [11] 高次脳機能障害と看護 | (新田) |
| [12] 高齢者と医療安全 | (川上) |
| [13]・[14] 高齢者の権利擁護（鴨川市の取り組みと寸劇） | (濱崎) |
| [15] 高齢者の検査と薬物療法 | (新田) |
| [16] 高齢者の死とターミナルケア | (青山) |
| [17] 排泄障害と看護（失禁） | (田中) |
| [18] 排泄障害と看護（便秘） | (田中) |
| [19] 【演習】高齢者の排泄ケア・フットケア | (青山・川上) |
| [20] 運動機能障害と看護（大腿骨頸部骨折、変形性膝関節症） | (青山) |
| [21]・[22] 【演習】高齢者の身体機能評価、自立への援助 | (室井・比護) |
| [23] 回復期にある高齢入院患者の看護過程の展開 | (青山・川上) |
| [24] 【演習】回復期にある高齢入院患者の看護過程の展開①（グループワーク：アセスメント） | (青山・川上) |
| [25] 【演習】回復期にある高齢入院患者の看護過程の展開②（グループワーク：関連図） | (青山・川上) |
| [26] 【演習】回復期にある高齢入院患者の看護過程の展開③（グループワーク：問題リスト、目標設定、計画） | (青山・川上) |
| [27] 【演習】回復期にある高齢入院患者の看護過程の展開④（グループワーク発表） | (青山・川上) |
| [28] 【演習】回復期にある高齢入院患者の看護過程の展開⑤（まとめ） | (青山・川上) |
| [29] 高齢者のQOLを考える | (青山) |
| [30] 高齢者のアクティビティケア、臨地実習に向けて必要な課題 | (川上・青山) |

【教科書】

1. 佐々木英忠他（2018）系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護病態疾患論，医学書院
2. 北川公子他（2014）系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護学，医学書院

【参考書】

1. 山田律子他編（2016）生活機能からみた老年看護過程 病態・生活機能関連図 第3版，医学書院
2. 江川隆子編集（2016）ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断，ニューヴェルヒロカワ

【評価方法・評価基準】

試験成績 40%、小テスト 40%、課題レポート 20%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された事前課題を自己学習して授業に臨むこと。

事後学習：講義資料をもとに授業内容の復習を行う。課題はレポート提出する。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

看護過程の課題レポートは、臨地実習で必要になる為、実習オリエンテーションで返却する。

【備考】

講義毎に資料の配布・文献の紹介を行う。